

表題	高品質かぶせ茶の被覆方法	機関	農業研究センター 茶業研究所
概要： 高品質かぶせ茶は、芽重型の茶園で被覆効果が高く、遮光率85%前後の被覆資材を3葉期から15日間直接被覆する。			

## 研究のねらい

かぶせ茶は、県内主要茶産地で今後生産拡大が見込まれている。

このため、被覆資材の選定、被覆開始時期及び期間、樹勢維持のための枝条管理法について検討し、高品質かぶせ茶の栽培技術の確立を図る。

## 研究の成果

1. 遮光率が85%前後の被覆資材では、資材の種類による新芽の生育、収量、製茶品質への影響は小さい。
2. 収量、製茶品質、市場評価額等から総合的にみて、遮光率85%の被覆資材を、一番茶では新芽のおよそ3葉期から15日間直接被覆する方法がよい。
3. かぶせ茶栽培を行う茶園としては、前年二番茶後に深刈り更新をした芽重型の茶園が収量、品質面で優れる。

## 普及上の留意点

1. 被覆開始時期は、年による気温(生育速度)を考慮する。

表1 被覆資材（一番茶、3ヶ年平均）

試験区	遮光率 (%)	収量 (g/m <sup>2</sup> )	製茶品質			市場評価 (円/kg)	成分含量(乾物%)				備考
			外観	内質	合計		全窒素	アミノ酸	カフェイン	タンニン	
A	85	492	35	54	89	3,767	5.90	3.66	3.42	10.05	パロンスクリーン黒
B	83~87	490	37	54	91	3,733	6.04	3.64	3.43	9.82	ライトスクリーン黒
C	90	497	37	55	92	4,033	6.21	4.14	3.50	9.42	グレイラッセル黒
D	85	486	37	54	91	3,767	6.08	3.73	3.45	9.40	グレイラッセル銀
E	80~84	512	35	55	90	3,133	5.69	3.13	3.32	10.51	キョクオンネット銀黄
無被覆	-	542	30	46	76	2,100	5.38	3.00	2.94	11.46	—————

注) 3葉期から15日間直接被覆、品種：やぶきた、成分含量は近赤外線分光高度計で分析

表2 被覆時期・期間（一番茶、3ヶ年平均）

試験区 (被覆開始・期間)	摘採日	収量 (g/m <sup>2</sup> )	製茶品質			市場評価 (円/kg)	成分含量(乾物%)			
			外観	内質	合計		全窒素	アミノ酸	カフェイン	タンニン
2.5葉期から20日	+5	555	35	56	91	3,767	5.92	3.69	3.44	9.11
3葉期から15日	+5	583	36	55	91	3,967	5.88	3.69	3.39	9.38
3.5葉期から10日	+5	646	34	51	86	3,633	5.76	3.34	3.44	10.22
3葉期から10日	0	432	36	52	88	4,200	6.16	3.61	3.57	10.93
3葉期から20日	+10	714	33	50	83	2,867	5.39	3.37	3.37	9.43
無被覆	0	492	33	45	78	2,233	5.35	2.88	2.92	11.54

注) パロンスクリーン黒（遮光率85%）直接被覆、摘採日は無被覆対比、品種：やぶきた

表3 枝条管理（平成9年、一番茶）

試験区	新芽長 (cm)	百芽重 (g)	収量 (kg/10a)	製茶品質			市場評価 (円/kg)	成分含量(乾物%)			
				外観	内質	合計		全窒素	アミノ酸	カフェイン	タンニン
深刈り区	6.4	69.5	460	34	54	88	4,200	5.81	3.65	2.99	10.25
浅刈り区	4.6	52.3	428	34	52	86	3,800	5.94	3.85	3.00	10.22
無処理区	2.6	36.3	390	34	50	84	3,500	5.87	2.62	3.13	10.76

注) パロンスクリーン黒（遮光率85%）を10日間直接被覆、品種：やぶきた